

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>○主体的に学習に取り組む態度⇒共通指標・学習などについてのアンケート「疑問や課題を解決するために自分で方法を考えるようにしている」生徒 88.5%</p> <p>□思考力・判断力・表現力等⇒共通指標・学習などについてのアンケート「人の意見を聞いてそれを参考にして自分の考えを見直す事がある」生徒 93.2%</p> <p>◇基礎的・基本的な知識及び技能⇒学校評価生徒アンケート「全体的に分かりやすい授業が行われている」と考えている生徒 88.5%</p>
	<p>○学校評価生徒アンケート「学習のようすや進め方をふり返りながら、見直しをもって取り組んでいる」生徒 71.0% ⇒生徒が粘り強く学習に取り組むための指導の工夫</p> <p>□共通指標・学習などについてのアンケート「自分の意見を進んで発言しようとしている」生徒 64.5% ⇒一貫した教育を通し、協働して課題解決に向かうための手立ての工夫</p> <p>◇共通指標・学習などについてのアンケート「自分で計画を立てて勉強している」生徒 67.5% ⇒効果的な反復練習、継続的な家庭学習の工夫、パートナー校小学校との連携</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>○札幌市の共通指標の「人の役に立ててうれしいと感じることがある」という項目において、肯定的な回答の割合が97.0%である一方、「自分が必要とされていると感じる」という項目の肯定的な回答の割合が76.5%であった。教育活動全体通して生徒の「心理的安全性」を整え、生徒の「自己肯定感」を高めていく工夫をしていきたい。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

### 見直しをもって主体的かつ協働的に学ぶ力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>持続可能な授業スタイルの確立に向けての授業実践、研修、小中交流の推進 に向けて</p> <p>(1)授業に見直しをもつために、自ら生徒が動き出す授業フレームを構築する</p> <p>(2)主体的、協働的に取り組む場面を意図的に設定する</p> <p>(3)お互いの成果を確認し意欲の向上を図るための、振り返りの場面を設ける</p> <p>(4)校内研究の中で、課題探究的な学習活動を「学習意欲の向上」の視点から研究</p> <p>(5)「小中一貫した教育」との関連で、各校の育成プログラムを一貫した教育の視点から捉え、実践を積み上げる</p>	<p>①自分たちの意思を実現するために 生徒会による「やりたい」を実現～ノーチャイムデー等</p> <p>②自分たちの問題を自分たちで解決するとともに、一人一人が「自分が大切にされている」と実感できるために 生徒総会に向けての取組、生徒総会の議事進行の工夫</p> <p>③自分たちの行動に責任をもつために 南が丘中学校のめざす姿「あ・い・さ・つ」に基づいた活動の推進 ラベンダープロジェクトの実践、パートナー校との交流</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p>		
<p>◇(1)について、生徒自らが動き出せる既存のアプリを利用するなどの授業フレームを構築する</p> <p>◇②について、生徒総会の取組にICTを活用し、生徒の意見集約の結果を全体場で共有する工夫</p> <p>◇(3)について、生徒一人一人の考えや取組方法を画面上で共有し、自分の気付きにつなげられるようにする</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

<p><b>新年度</b></p> <p>◇本プログラム共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議（4月6日）</li> <li>・校内研修会</li> <li>・パートナー校間研修</li> </ul>	<p><b>〔一人一人の教職員〕</b></p> <p>◇日常の授業・教育活動</p> <p>◇各自の研修…札教研等</p>	<p><b>〔学校全体〕</b></p> <p>◇授業実践交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫した教育（6月9日札教研）</li> <li>・校内研修会（11月2日）</li> </ul>	<p><b>次年度へ</b></p> <p>◇学校評価、学校関係者評価</p> <p>◇成果と課題を共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修会（1月29日）</li> </ul>
--	--	---	--

